

第76回国民体育大会
四日市市準備委員会

第3回総務企画専門委員会



日時 平成30年9月19日（水）午後2時30分～

会場 四日市市役所 9階 教育委員会室



三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 **2021**

第76回国民体育大会四日市市準備委員会

第3回総務企画専門委員会 目次

第76回国民体育大会四日市市準備委員会第3回総務企画専門委員会次第・・・P1

第76回国民体育大会四日市市準備委員会総務企画専門委員会委員名簿・・・P2

<報告事項>

【第1号報告】第76回国民体育大会四日市市準備委員会総務企画専門委員会
委員の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

【第2号報告】第76回国民体育大会四日市市広報推進状況報告について・・・P4

<審議事項>

【第1号議案】
第76回国民体育大会四日市市広報推進計画（案）について・・・・・・・・・・P5

【第2号議案】
第76回国民体育大会四日市市ボランティア募集計画（案）について・・・・・・・・P7

【第3号議案】
第76回国民体育大会四日市市売店等設置基本方針（案）について・・・・・・・・P10

○参考資料

（参考資料①）第76回国民体育大会四日市市広報基本計画・・・・・・・・・・P13

（参考資料②）第76回国民体育大会四日市市市民協働基本計画・・・・・・・・・・P14

（参考資料③）第76回国民体育大会四日市市歓迎・接伴基本計画・・・・・・・・P15

第76回国民体育大会四日市市準備委員会

第3回総務企画専門委員会 次第

1. 開会

2. 事務局長あいさつ

3. 報告事項

(1) 【第1号報告】

第76回国民体育大会四日市市準備委員会総務企画専門委員会委員の変更について

(2) 【第2号報告】

第76回国民体育大会四日市市広報推進状況報告について

4. 審議事項

(1) 【第1号議案】

第76回国民体育大会四日市市広報推進計画（案）について

(2) 【第2号議案】

第76回国民体育大会四日市市ボランティア募集計画（案）について

(3) 【第3号議案】

第76回国民体育大会四日市市売店等設置基本方針（案）について

5. その他

6. 閉会

第76回国民体育大会四日市市準備委員会

総務企画専門委員会委員名簿

【委員19名】

(順不同・敬称略)

選出区分	所属機関・団体名	役職名	氏名
産業経済 社会福祉 交流文化	NPO法人 四日市市体育協会	理事長	山田 源嗣
	四日市市スポーツ推進委員協議会	会長	馬場 宏
	四日市市レクリエーション協会	会長	堀木 俊男
	四日市市スポーツ少年団	本部長	田中 憲治
	四日市商工会議所	総務部次長兼総務課長	坂下 聡宏
	四日市市自治会連合会	理事	佐藤 房雄
	社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会	地域福祉課 課長補佐兼 ボランティアセンター所長	安田 美佳
	四日市商店連合会	会長	森 修平
	四日市観光協会	観光コーディネーター	落合 純二
学校等	四日市市中学校長会		諸岡 克博
	四日市市小学校長会	会長	藤井 巧
	三重県高等学校長協会	北勢地区校長会長	丹羽 毅
四日市市	政策推進部政策推進課	課付主幹	渡部 行成
	シティプロモーション部観光交流課	課長	小松 威仁
	シティプロモーション部 広報マーケティング課	主幹	吉田 純平
	市民文化部市民生活課	次長兼課長	服部 豊
	市民文化部市民協働安全課	参事兼課長	中根 敏夫
	商工農水部商工課	課長補佐兼商業振興係長	清水 秀樹
	教育委員会教育総務課	課長	長谷川 術

第76回国民体育大会四日市市準備委員会

総務企画専門委員会 委員の変更について

第2回総務企画専門委員会（平成29年11月7日開催）以降、平成30年9月19日までの間における委員の変更については、下記のとおりである。

○総務企画専門委員

(順不同・敬称略)

所属機関・団体・役職名	新任者	前任者
四日市市自治会連合会 理事	佐藤 房雄	佐藤 昭慈
四日市市中学校長会	諸岡 克博	森田 定
四日市市小学校長会 会長	藤井 巧	谷村 良訓
三重県高等学校長協会 北勢地区校長会長	丹羽 毅	渋谷 順市
政策推進部政策推進課 課付主幹	渡部 行成	一川香世子
シティプロモーション部観光交流課 課長	小松 威仁	山川 朋洋
市民文化部市民協働安全課 参事兼課長	中根 敏夫	森 祐子
商工農水部商工課 課長補佐兼商業振興係長	清水 秀樹	堤 佳功

第76回国民体育大会四日市市広報推進状況報告

第76回国民体育大会四日市市広報基本計画に基づき、「三重とこわか国体」開催の機運の醸成を図るために取り組んだ広報活動の推進にかかわる現在の状況（平成30年8月時点）を報告する。広報基本計画において示された取り組みの柱に基づいて広報啓発を進めている。

1 印刷物等による広報

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会作成のパンフレット、広報ボランティア募集チラシ、ポスター、幟を各所にて配布・配置した。大会マスコットキャラクター「とこまる」をはじめ、シンボルマーク、大会愛称「三重とこわか国体・三重とこわか大会」、スローガン「ときめいて人がやいて未来」などを活用し、啓発に努めている。

2 メディアによる広報

第76回国民体育大会四日市市準備委員会ホームページを開設し、会議報告や進捗状況をはじめさまざまな情報について発信している。

広報よっかいち7月上旬号には、「三重とこわか国体」についての記事を掲載した。

「46年ぶりに三重県で開催される2021年三重とこわか国体に向けて」の見出しで、四日市市マスコットキャラクター「こにゅうどうくん」の競技別イラストにてアピールした。

3 イベントによる広報

平成30年4月7日（土）～8日（日）にかけて四日市市役所周辺道路で開催されたエキサイト四日市・バザールにて、バザール参加者に「三重とこわか国体」のアピールを行った。そこでは、四日市市開催競技（10種目）を宣伝するため、四日市市マスコットキャラクター「こにゅうどうくん」をモデルに作成した競技別ピンバッジを配布した。

4 工作物等による広報

「三重とこわか国体」啓発幟を設置し、国体開催機運の高揚に努めている。今後、広告塔、歓迎塔、横断幕、懸垂幕、案内板、カウントダウンボード等の設置に向けて広報活動を進めていく。インターハイ終了後、四日市市役所1階エレベーター扉に、国体PRラッピングを行った。

5 その他

イメージソングやダンスを活用した取り組みにモデル的に取り組んだ。

平成30年6月28日、四日市市立河原田小学校4年生が、イメージソング「未来に響け」のダンスに取り組んだ。

第76回国民体育大会四日市市広報推進計画（案）

1 趣旨

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」（以下「国体」という。）に対する市民の理解と関心を深め、参加意識の高揚を図るとともに、歴史や文化、産業、観光、自然、食など、本市の多彩な魅力を広く全国に発信するため、第76回国民体育大会四日市市広報基本計画に基づき推進計画を策定し、効果的な広報活動を積極的に展開する。

2 広報啓発活動

(1) 印刷物等による広報

国体開催の意義や準備状況、各種情報の周知と開催機運の醸成を図るため、シンボルマーク、大会愛称、スローガン、マスコットキャラクターなどを活用して各種印刷物や啓発物品を作成配布する。

ア 市、関係機関等の広報紙等への掲載

広報よっかいち等への国体関連記事の掲載を進め、効果的な情報発信を行う。四日市市シティプロモーション部広報マーケティング課等関係各課と連携を図る。

イ PR 広報紙の作成

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会作成の広報紙を活用するとともに、四日市市開催競技に特化した四日市版PR広報紙を作成し、効果的な広報啓発につなげる。

ウ ポスター、パンフレット等の作成

市内各所に掲示するポスターやイベントで配布するパンフレットを作成し、効果的に掲示、配付する。

エ 啓発グッズの作成

四日市市マスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のイラストを活用したピンバッジや缶バッジを作成し、各種事前イベント等で活用する。

(2) メディアによる広報

多様なメディアを活用し、広報・啓発に努める。

ア 新聞、テレビ、ラジオ等による広報

新聞各紙、テレビ、ラジオ等によるイベント報道を積極的に促し、広報啓発に努める。特に、CTY（ちゃんねるよっかいち）やCTY-FMの活用を図る。

イ インターネットによる情報発信

第76回国民体育大会四日市市準備委員会のホームページを充実し、情報発信に努める。また、ホームページの閲覧数を増やすための広報を行うとともに、四日市

市ホームページ等とのリンクを図る。

ウ 市の既存の広報番組等の活用

ちゃんねるよっかいち、CTY-FM番組の積極的な活用を図る。

(3) イベントによる広報

主催イベントを実施するとともに、既存の各種イベントとの連携を積極的に図る。

ア 啓発イベントの開催

開催前の節目でイベントを主催し、効果的な広報啓発につなげる。また、○日前イベントもねらいや目的を明確にして、イベント内容の工夫を行う。

イ 関係機関等のイベントとの連携

エキサイト四日市・バザールや大四日市まつりなど、規模の大きなイベントはもとより、市街地中心部のイベントだけでなく、市内各地区のイベントも対象に連携を図る。イメージソングや国体ダンスなども効果的に活用する。

ウ 四日市市開催競技の競技団体と連携し、体験会等を行う。

(4) 工作物等による広報

工作物を作製し、効果的な活用を図る。

ア 広告塔、歓迎塔の設置

国体広告塔や歓迎塔を交通要所に設置し、効果的な広報啓発を図るとともに、四日市市の歓迎、もてなしの意思をアピールする。

イ 横断幕、懸垂幕、幟の設置

横断幕や懸垂幕を市内要所に効果的に設置するとともに、幟を公的機関や市内の宿泊施設、ショッピングセンター等に設置依頼する。

ウ 案内板の設置

国体開催前から案内板を市内交通要所に設置し、情報の発信と大会開催機運の醸成に努める。

エ カウントダウンボードの設置

市内交通要所にカウントダウンボードを設置し、開催前の節目イベントとともに、開催機運の高揚を図る。ボードの製作については市内高校等の協力を仰ぐ。

(5) 大会記録集による広報

国体の取り組み経過や成果を記憶にとどめるため、大会報告書等を作成する。大会記録は、競技開催期間の記録だけでなく、事前の広報活動や市民協働活動についても広く記録し、大会前から大会終了後までの取り組みを網羅するとともに、視覚に訴えるものとする。

大会報告書、記録写真集、大会記録映像（DVD）を一体化した大会報告集として作成する。

第76回国民体育大会四日市市ボランティア募集計画（案）

1 趣 旨

第76回国民体育大会「三重とわか国体」（以下「国体」という。）を市民の力が結集した、ともに感動と喜びを分かち合える大会とするため、広く市民からボランティアを募集する。

2 募集主体

第76回国民体育大会四日市市準備委員会（以下「準備委員会」という。）

3 活動内容

【運営ボランティア】

役 割	主 な 活 動 内 容
輸 送 ・ 交 通 係	<ul style="list-style-type: none"> ・バス・タクシー乗降所での案内および誘導 ・駐車場の案内 ・車両、歩行者の交通整理
受 付 案 内 係	<ul style="list-style-type: none"> ・競技の案内、交通、宿舎、観光等の案内 ・遺失物、拾得物の取り扱い ・緊急呼び出し、迷子などの対応
競 技 会 場 係	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者数の把握 ・観客等の整理、誘導
休 憩 所 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリンクコーナーの設営、開設
弁 当 ・ 環 境 美 化 係	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当の引き換え、回収 ・廃棄物、資源物の収集、搬出 ・競技会場の美化、清掃
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の他、競技会運営等に関する活動

【広報ボランティア】

役 割	主 な 活 動 内 容
広 報 啓 発	イベント等でのPR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ・啓発グッズ等の配布、イメージソング・国体ダンスによるPR、PRブースの運営補助等 ・イベントや市民運動への参加等 ・記録、映像等

4 募集人員

必要人員数を精査・検討し、募集要項に示す。(1, 500名程度を想定)

5 募集期間 2019年5月1日～募集人員に達するまでとする。

6 募集要件

(1) 四日市市内に在住または通勤・通学している個人またはグループ

(2) 中学生以上を想定

※ただし、中学生・高校生の方は保護者の同意を必要とする。

7 応募方法

登録申込書に必要事項を記入し、準備委員会事務局へ持参、郵送、FAXまたはメール等により申し込むものとする。

8 登録・抹消

(1) 準備委員会は、募集要件を満たした応募者を、ボランティアとして登録する。

(2) 準備委員会は、次の場合に登録を取り消すことができる。

ア 本人または団体から申し出があった場合

イ 大会のイメージを損なう行為があった場合

9 活動期間

(1) 運営ボランティア

① リハーサル大会開催期間

② 国体開催期間

(2) 広報ボランティア

・登録後から大会終了まで

※ただし、活動業務によっては、上記以外の日程に活動を依頼することもある。

10 活動場所

競技名	会場名
サッカー	四日市市中央緑地陸上競技場・フットボール場 四日市大学
テニス	霞ヶ浦テニスコート 四日市ドーム
体操 (競技、新体操、トランポリン)	四日市市中央緑地 新体育館(仮称)

自転車 (トラック・レース)	四日市競輪場
軟式野球	霞ヶ浦第1野球場、霞ヶ浦新野球場（仮称）
カヌー (スプリント)	伊坂ダム 特設カヌー競技場
空手道	四日市市中央緑地 新体育館（仮称）
ゴルフ	四日市カントリー倶楽部

※ 広報ボランティアについては、活動場所はこの限りではない。

1.1 研修

活動内容に応じて必要な研修または事前説明会を開催する。

1.2 活動業務・活動日・活動場所の決定

活動業務・活動日・活動場所については、事前に実施する希望調査を参考に決定する。

1.3 報酬・交通費など

募集要項にて示す。

1.4 保険

必要に応じて、準備委員会の負担において「傷害保険」及び「賠償責任保険」に加入する。

1.5 個人情報の保護

応募者の個人情報は、準備委員会が主催する大会運営のために使用し、その他の目的には使用しない。

ただし、応募時の登録申込書において、国体開会式・閉会式ボランティアに係る個人情報の提供に同意した方については、県の三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会からの要請に応じて個人情報を提供する場合がある。

1.6 その他

この募集計画に定めるものの他、必要な事項は準備委員会事務局長が別に定める。

第76回国民体育大会四日市市売店等設置基本方針(案)

1. 趣旨

第76回国民体育大会「三重とわか国体」(以下「国体」という。)の参加者および一般観覧者等の便宜を図ることを目的として、各競技会場区域内に売店、展示ブース等(以下「売店等」という。)を設置するための基本的事項を定めるものである。

2. 基本的考え方

- (1) 売店等を設置するにあたっては、会場となる施設の管理者、関係機関、関係団体等との連携を密にし、国体運営に支障がないよう配慮するものとする。
- (2) 売店等を出店する業者の選定にあたっては、国体の趣旨に賛同する業者の中から、営業経験、実績等を総合的に勘案するものとする。
- (3) 売店等の設置、運営、警備、撤去等に要する一切の経費は、原則として売店等を出店する業者が負担するものとする。

3. 販売品目

- (1) 売店等で販売する物品は、大会にふさわしい品位あるものとする。
- (2) 製造加工品、現地調理品
- (3) 大会主催者と協賛契約を締結している企業および団体が有する権利を尊重するため、契約内容により販売品目に制限を設けるものとする。

4. その他

売店等の運営・募集に関する要項は別に定める。

參考資料

第76回国民体育大会四日市市広報基本計画

1 目的

第76回国民体育大会「三重とわか国体」の開催に対する市民の理解と関心を深め、参加意識の高揚を図るとともに、歴史や文化、産業、観光、自然、食など、本市の多彩な魅力を広く全国に発信するため、効果的かつ積極的な広報活動を行う。

2 内容

(1) 印刷物等による広報

国体開催の意義や準備状況の周知を図るため、シンボルマーク・大会愛称・スローガン・マスコットなどを活用して、各種印刷物や啓発物品を作成する。

- ア 市、関係機関等の広報紙等への掲載
- イ PR広報紙の作成
- ウ ポスター・パンフレット等の作成
- エ 啓発グッズの作製

(2) メディアによる広報

多様なメディアを活用する。

- ア 新聞、テレビ、ラジオ等による広報
- イ SNS等、インターネットによる情報発信
- ウ 市の既存の広報番組等の活用

(3) イベントによる広報

主催イベントを実施するとともに、既存の各種イベントとの連携を図る。

- ア 啓発イベントの開催
- イ 関係機関等のイベントとの連携

(4) 工作物等による広報

工作物を作製し、活用する。

- ア 広告塔、歓迎塔の設置
- イ 横断幕、懸垂幕、幟の設置
- ウ 案内板の設置
- エ カウントダウンボードの設置

(5) 大会記録集による広報

「三重とわか国体」の成果を記録にとどめるため、大会報告書、写真集等を作成する。

- ア 大会報告書の作成
- イ 記録写真集の作成
- ウ 大会記録映像（DVD）の制作

第76回国民体育大会四日市市市民協働基本計画

1 目的

第76回国民体育大会「三重とわか国体」の成功に向け、市民一人一人がそれぞれの立場で積極的に国体に参加する気運を高め、市民総参加で感動と友情の輪が広がる魅力ある大会にするとともに、本市の都市像である「みんなが誇りを持てるまち、四日市」の実現につなげていくことを目的とする。

2 基本目標

(1) 市民一人一人の力で盛り上げる国体

市民一人一人が何らかの形で国体に携わることにより、ともに喜びと感動を分かち合える国体を目指す。

(2) おもてなしの心で温かく迎える国体

全国から訪れる方々をおもてなしの心を持って温かくお迎えすることにより、感動と友情の輪を広げる国体を目指す。

(3) 本市の魅力を全国にアピールする国体

全国から訪れる方々に様々な機会を通じて歴史、文化、産業、観光、自然、食など本市の多彩な魅力を広く発信する国体を目指す。

(4) クリーンで快適な国体

清掃美化活動やごみの分別の徹底、リサイクルの推進等を通じて、美しく快適な国体を目指す。

3 推進方法

(1) 市民の理解と関心を高め、市民一人一人の自発的活動として運動が広がるよう、各種広報活動を進める。

(2) 市民参加の機会がより広範囲になるよう、市民団体、関係機関等と連携して進める。

(3) 既存の各種市民運動や企業の社会貢献活動などと連携し、それぞれの立場に応じて推進分野を分担し、一人でも多くの市民の理解と参加が得られるように活動を進める。

第76回国民体育大会四日市市歓迎・接伴基本計画

1 目的

第76回国民体育大会「三重とわか国体」に参加する選手、監督、役員、視察員、報道員、その他関係者及び一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の歓迎・接伴については、関係機関や団体等の協力を得て、全国から訪れる方々に本市の魅力を広く伝え、再度の来訪につながるよう、心を込めたおもてなしを提供することを目的とする。

2 内容

(1) 案内所の設置

大会参加者等の便宜を図るため、競技会場、主要駅等に案内所を設置し、競技、宿泊、交通、観光、物産等の案内及び連絡業務等を行う。

(2) 休憩所の設置

大会参加者等の憩いの場、交流の場として利用するため、競技会場に休憩所を設置する。

(3) 売店等の設置

- ア 大会参加者等の便宜を図るとともに、本市の特産物等の紹介及び販売を促進するため、関係機関・団体の協力を得て、競技会場に売店等を設置する。
- イ 売店等では、ゴミの減量化、持ち帰り運動、分別収集に努める。

(4) 歓迎装飾の実施

大会参加者等を歓迎するため、競技会場、主要駅、その他必要な場所において歓迎装飾を行う。

(5) 接遇意識の高揚

大会参加者等に対し、おもてなしの心で接遇するため、関係機関・団体等の協力を得て、接遇意識の高揚に努める。

(6) 情報の発信・提供

大会参加者等が必要とする情報（競技、宿泊、交通、観光、物産等）が容易に得られるために、SNS等のインターネット上における情報発信の推進に努め、併せて戦略的観光PRの充実を図る。

MEMO